

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ヘッドライト・レンズ磨き
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問い合わせ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M221017
推奨用途	ヘッドライト用レンズ磨き

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分2 発がん性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肺) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
呼吸器への刺激のおそれ
発がんのおそれの疑い
長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

保護手袋を着用すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

保管

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

廃棄

施錠して保管すること。

内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
水	58%	H ₂ O	—	—	7732-18-5
酸化アルミニウム	29.01%	Al ₂ O ₃	(1)-23	既存	1344-28-1
ケロシン	7%	特定できない	—	—	8008-20-6
ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール	5%	(C ₃ H ₆ O.C ₂ H ₄ O) _x	—	—	9003-11-6
水酸化アンモニウム	0.99%	H ₅ NO	(1)-314	既存	1336-21-6

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

アンモニア(政令番号:39)(10%未満)

酸化アルミニウム(政令番号:189)(20%~30%)

灯油(政令番号:380)(10%未満)

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	<p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。</p> <p>口をすすぐこと。</p> <p>飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。</p>
<p>5. 火災時の措置</p> <p>適切な消火剤</p> <p>使ってはならない消火剤</p> <p>火災時の特有の危険有害性</p>	<p>粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。</p> <p>棒状注水。</p> <p>燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。</p>
特有の消火方法	<p>火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。</p> <p>消火作業は、風上から行う。</p> <p>周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。</p> <p>火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。</p>
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	<p>関係者以外は安全な場所に退去させる。</p> <p>消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p>	<p>作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。</p> <p>多量の場合、人を安全な場所に退避させる。</p> <p>必要に応じた換気を確保する。</p>
<p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>	<p>漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。</p> <p>多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。</p> <p>少量の場合、吸着剤(土・砂など)で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。</p>
二次災害の防止策	<p>必要があれば希塩酸、希硫酸などで中和する。</p> <p>中和の際は、発熱、発煙などに注意する。</p> <p>付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。</p> <p>滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。</p> <p>漏出物の上をむやみに歩かない。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p>	<p>蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。</p> <p>取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。</p>
安全取扱注意事項	<p>すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。</p>

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

使用前に取扱説明書入手すること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取扱い後はよく手を洗うこと。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

保管
接触回避
衛生対策
安全な保管条件

安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
水	未設定	未設定	未設定
酸化アルミニウム	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³	未設定
ケロシン	未設定	未設定	TWA 200 mg/m ³ (P), STEL - (as total hydrocarbon vapor) (Skin)
ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール	未設定	未設定	未設定
水酸化アンモニウム	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

液体

色

液体

臭い

青色

融点／凝固点

アンモニア臭

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

246°C

可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 下限界／可燃限界		データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		水に中程度に溶ける。
n-オクタノール／水分配係数(log 値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		1.2
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
その他のデータ		VOC含有量: < 1 %

10. 安定性及び反応性

反応性		情報なし
化学的安定性		情報なし
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		直射日光。極端な高温または低温。
混触危険物質		強酸、強塩基。
危険有害な分解生成物		有毒ガス。一酸化炭素。二酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分4:水酸化アンモニウム(毒性値=350mg/kg 出典:NITE) 区分に該当しない:ケロシン(出典:NITE), 酸化アルミニウム(出典:NITE), 水(毒性値=100001mg/kg 出典:独自)
	経皮	データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール 計算結果が35353.5353535mg/kgのため、区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 区分に該当しない:ケロシン(出典:NITE), 水(毒性値=100001mg/kg 出典:独自) 分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE) データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
	吸入	(急性毒性(吸入:気体)) GHS定義による気体ではない。 (急性毒性(吸入:蒸気)) 区分に該当しない:水(毒性値=100001ppm 出典:独自) 分類できない:ケロシン(出典:NITE), 酸化アルミニウム(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE)

皮膚腐食性／刺激性	<p>データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール</p> <p>分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。</p> <p>(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))</p> <p>区分に該当しない:ケロシン(出典:NITE), 水(毒性値=1001mg/l 出典:独自)</p> <p>分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE)</p> <p>データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール</p> <p>分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。</p> <p>区分1:水酸化アンモニウム(出典:NITE)</p> <p>区分2:ケロシン(出典:NITE)</p> <p>区分に該当しない:水(出典:独自)</p> <p>分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE)</p>
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	<p>データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール</p> <p>(区分1+1A+1B+1C)×10+区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。</p> <p>区分1:水酸化アンモニウム(出典:NITE)</p> <p>区分に該当しない:ケロシン(出典:NITE), 水(出典:独自)</p>
呼吸器感作性	<p>分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE)</p> <p>データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。</p> <p>区分に該当しない:水(出典:独自)</p> <p>分類できない:ケロシン(出典:NITE), 酸化アルミニウム(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE)</p>
皮膚感作性	<p>データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール</p> <p>分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。</p> <p>区分に該当しない:水(出典:独自)</p> <p>分類できない:ケロシン(出典:NITE), 酸化アルミニウム(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE)</p>
生殖細胞変異原性	<p>データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール</p> <p>分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。</p> <p>区分に該当しない:ケロシン(出典:NITE), 水(出典:独自)</p> <p>分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE)</p> <p>データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール</p>

発がん性
分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
区分2:ケロシン(出典:NITE)
区分に該当しない:酸化アルミニウム(出典:NITE), 水(出典:独自)
分類できない:水酸化アンモニウム(出典:NITE)
データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール

生殖毒性
ケロシン $\geq 1\%$ のため、区分2に該当。
(生殖毒性)
区分に該当しない:水(出典:独自)
分類できない:ケロシン(出典:NITE), 酸化アルミニウム(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール
分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
(生殖毒性・授乳影響)
分類できない:水酸化アンモニウム(出典:NITE)
データなし:水(出典:独自), ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
区分1:水酸化アンモニウム(臓器=呼吸器、中枢神経系 出典:NITE)
区分3:ケロシン(臓器=麻酔作用、気道刺激性 出典:NITE), 酸化アルミニウム(臓器=気道刺激性 出典:NITE)
分類できない:水(出典:独自)
データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール
区分3(気道刺激性)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
区分1:酸化アルミニウム(臓器=肺 出典:NITE)
分類できない:ケロシン(出典:NITE), 水酸化アンモニウム(出典:NITE), 水(出典:独自)
データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール
酸化アルミニウム $\geq 10\%$ のため、区分1(肺)に該当。

誤えん有害性
データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性 短期(急性)

区分3:水酸化アンモニウム(出典:NITE)
区分に該当しない:水(出典:独自)
分類できない:ケロシン(出典:NITE), 酸化アルミニウム(出典:NITE)
データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール

(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3が濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないが毒性未知成分を含有しているため分類できない。

水生環境有害性 長期(慢性)

区分に該当しない:水酸化アンモニウム(出典:NITE), 水(出典:独自)
 分類できない:ケロシン(出典:NITE), 酸化アルミニウム(出典:NITE)
 データなし:ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール
 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

残留性・分解性
 生体蓄積性
 土壤中の移動性
 オゾン層への有害性

情報なし
 情報なし
 情報なし
 データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

おがくず等に混ぜて焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
 国際規制

Regulatory Information Not dangerous goods
 by Sea
 Marine Pollutant Not applicable
 Transport in bulk Not applicable
 according to MARPOL
 73/78,Annex II ,and
 the IBC code

国内規制

Regulatory Information Not dangerous goods
 by Air
 陸上規制 非該当
 海上規制情報 非危険物
 海洋汚染物質 非該当
 MARPOL73/78附属書 非該当
 II 及びIBCコードによる
 ばら積み輸送される液体物質

特別の安全対策

航空規制情報 非危険物
 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
行う。

重量物を上積みしない。

なし

緊急時応急措置指針番号

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当

労働安全衛生法(通知対象物質)

該当

毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)

非該当

特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律

非該当

適用される主たる国内法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(アンモニア、酸化アルミニウム、灯油)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(アンモニア、酸化アルミニウム、灯油)

水質汚濁防止法

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)

労働基準法

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)

16. その他の情報

連絡先

株式会社MonotaRO

参考文献

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。